

東京成徳大学
学長
海保博之



学生の「学びたい」という気持ちを大切にしたい。1年次から専門教育に力をいれているのもそのため

本 学には東京都の北区と千葉県
の八千代市にそれぞれ特色を
もつキャンパスがあります。「都市型」
の十条台キャンパスは、商業施設も充
実した文教地区にあり、産業界はも
ちろん、近隣の大学とも交流を深め
られる環境にあります。一方「郊外型」
の八千代キャンパスは自然環境豊かで、
スポーツ施設が充実しているほか地域
との連携が盛んです。

2016年より臨床心理学科が十
条台に段階的に移転する予定ですが、
それは、これからの10年を見据えた全
学的な改革のはしり。同学科の移転
により他学部にも波及効果が生まれ
るはずです。まとまったり広がったり
しながら既存の学部や学びがちなが

る効果を期待しています。

昨今、大学生の基礎学力および学
習スキルの低下が問題視されていま
す。それを否定はしませんが、いっぽう
で新入生は「心理学や日本文学など
を学びたい」という明確な意志をもつ
て入学してくるものです。志望理由
を尋ねると多くは「やりたい専門があ
るから」と答えることからそれは明
らかです。学力や学習スキルの不足に
ばかりとらわれるのではなく、学びた
いという気持ちを私は大切にしたい。

1年次から専門教育に取り組める環
境を整えているのもそのためです。積
み上げが必要な理系科目と比較して
文系科目の場合、しっかりと指導をす
れば高いレベルの学びも可能です。

もちろん基礎が必要なのは言うま
でもなく、それは別のカリキュラムで
徹底して補います。学生の満足度も
高めつつ、学びの質も高めていきたい
のです。

もう一つ、専門教育を早くから行っ
ている理由があります。それは、専門
の先生に早く触れれば、それだけ多
くの薫陶を受けられること。教員と
密に接することで得られるのは知識
だけではありません。学問をとりまく
雰囲気や文化のようなものを感じ、
身につけることだけでも生涯の財産
になるはずです。

八千代では今、「トリプルMプロジェクト」という活動が盛んです。これは
My Teachers, My Students, My
Friendsの頭文字をとったもの。先生
方の企画によってゼミやサークルを立
ち上げ、共に学んでいこうという活動
です。ぜひ「私の先生」と呼べる先生
に出会い、師事してほしいと思います。
専門を通じて培われた繋がりができ
れば、その関係はずっと先まで続くこ
とでしょう。そうした豊かな関係を
築くこともまた、大学での学びの大
切な要素です。

【学長プロフィール】かいほ・ひろゆき●1942年生まれ。東京教育
大学教育学部心理学科卒業、同大学院博士課程中退。教育学
博士。徳島大学助手、助教授を経て、75年に筑波大学心理学系
講師、教授。2006年筑波大学を定年退職(名誉教授)後、東京
成徳大学教授。副学長を経て13年より現職。

【大学プロフィール】1993年創立。八千代キャンパスに人文学部
(日本伝統文化学科、国際言語文化学科、観光文化学科)、応用
心理学部(福祉心理学科、臨床心理学科、健康・スポーツ心理学
科)、十条台キャンパスに子ども学部(子ども学科)、経営学部(経
営学科)。